

北欧の都市・日本の都市 居場所・歩いて楽しめるまちと 商店街・「鎮守の森」

Cities in Nordic Countries and Japan:
Ibasho, Walkable City and Shotengai, Chinju-no-mori

広井良典(京都大学名誉教授)

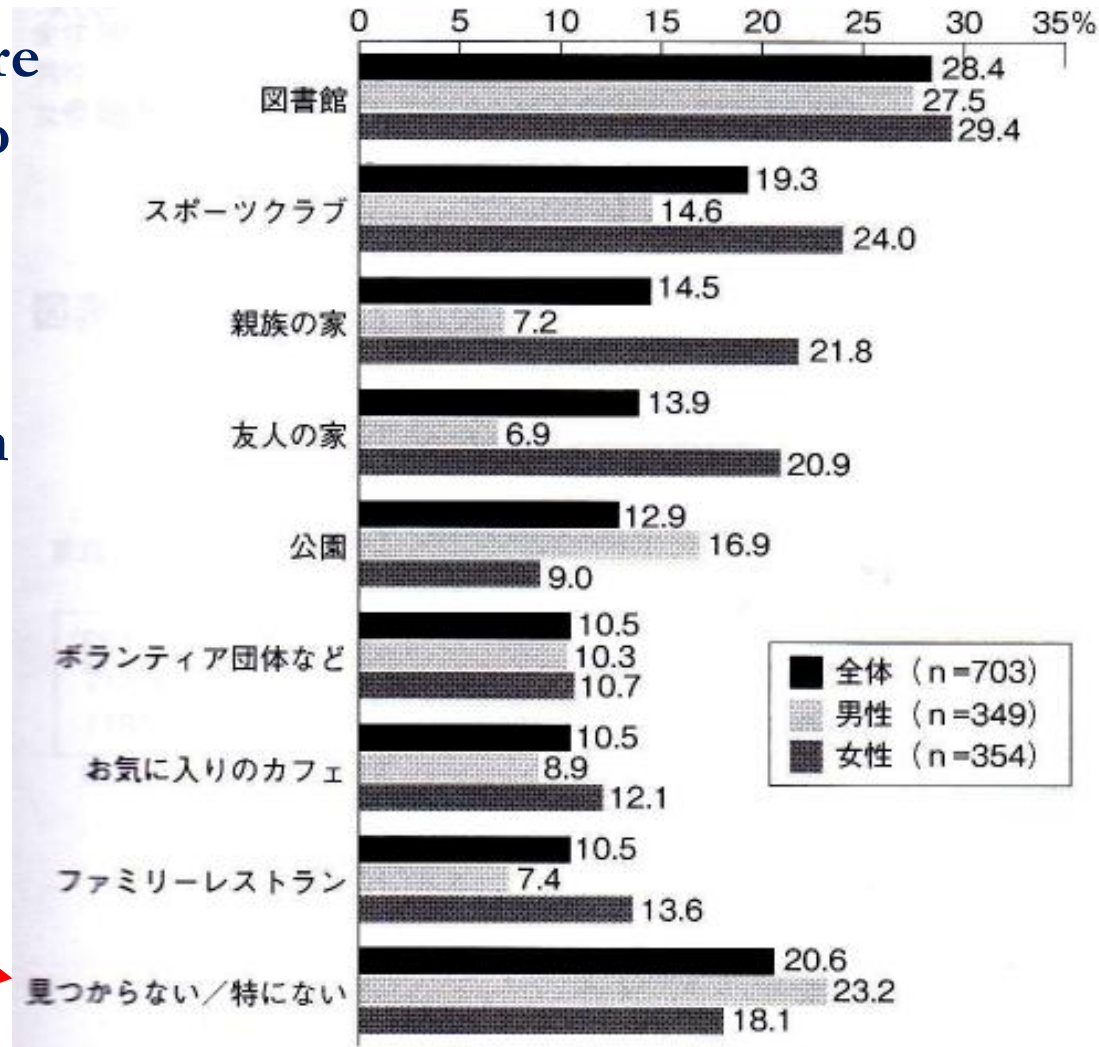
Yoshinori HIROI (Professor Emeritus, Kyoto University)

yoshinori@khh.biglobe.ne.jp

退職後の居場所：「あなたは自宅以外で定期的に行く居場所がありますか。」…首都圏に住む60～74歳の男女1236人へのアンケート調査(複数回答)

Questionnaire
about Ibasho
towards the
Elderly in
Tokyo
Metropolitan
Area

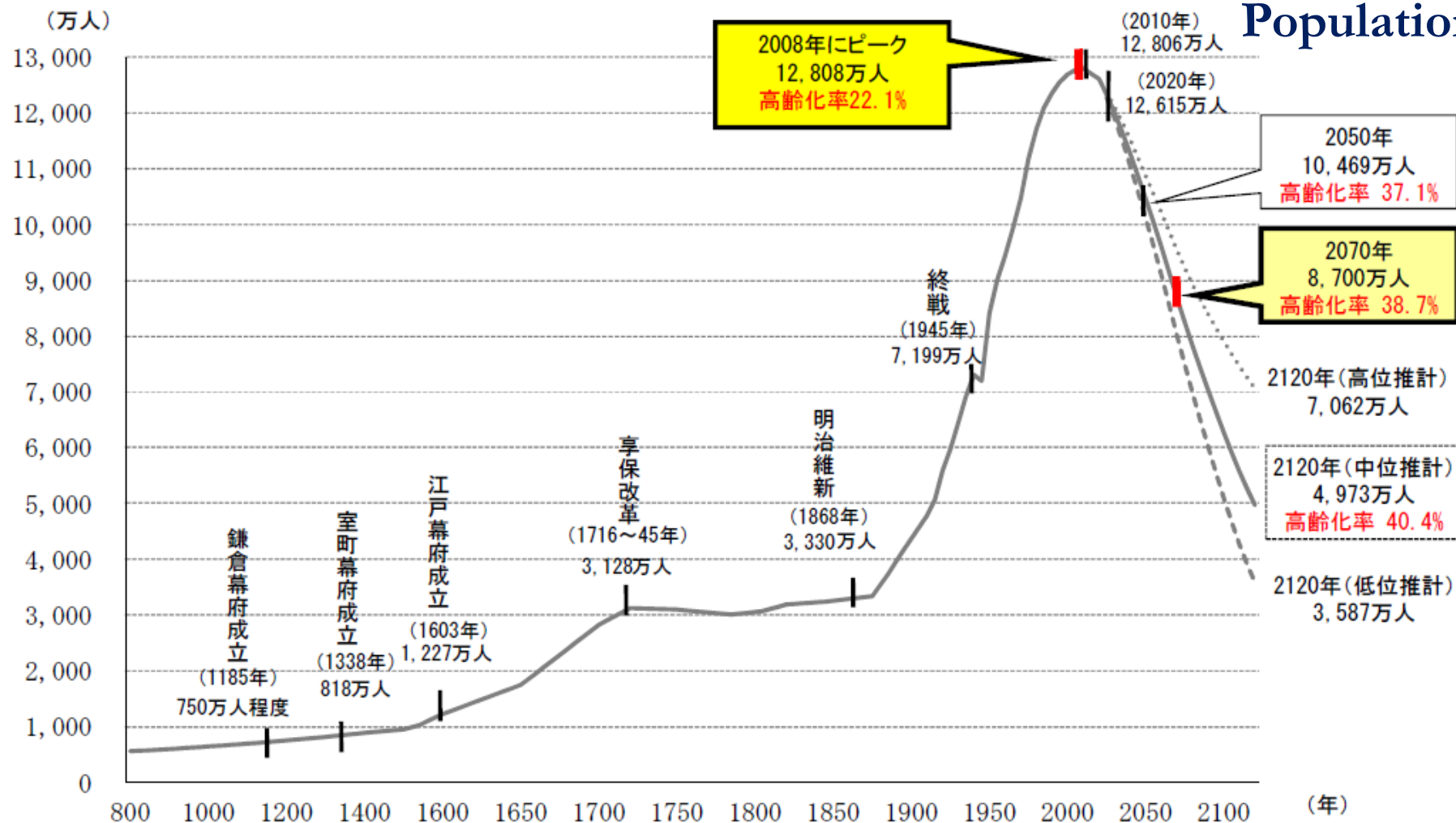
No such
Place



日本の総人口の長期的トレンド

2100年には6300万人に(ピーク時の約半分)

Long-term
Trend of the
Japanese
Population



(出典)国土庁「日本列島における人口分布の長期時系列分析」(1974年)。

(注)ただし、1920年からは、総務省「国勢調査」、「人口推計年報」、「平成17年及び22年国勢調査結果による補間補正人口」、
国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(令和5年推計)」により追加。値は日本の総人口(外国人含む)。

(出所)国土交通省資料

日本の地方都市の現状

人口20万人以下の都市はもちろん、30～40万人規模の都市
ですら空洞化(シャッター通り)

Current Status of the
Local Cities in Japan



北欧の都市の魅力

歩行者に優しい
ゆっくりくつろげる街

Positive Aspects of the Cities in Nordic Countries:

Pedestrian-friendly Community Space where You can Feel at Home

歩行者空間と「座れる場所」の存在

コペンハーゲン

Copenhagen



中小都市の中心部の賑わいと「歩いて楽しめる街」

ヘアニング(デンマーク)〔人口約5万人〕Herning



歩行者空間の広がりと「高齢者もゆっくり過ごせる街」 ロスキレ(デンマーク)[人口約4万人] Roskilde



歩行者空間の広がりと「子育てにも優しい街」

オーフス(デンマーク)〔人口約28万人〕 Aarhus



街中の「市場」の存在

Stockholm

ストックホルム(スウェーデン)〔約98万人〕



歩いて楽しめるまちづくり (ウォーカブル・シティ)

「コミュニティ空間」を重視した、
ウェルビーイングな都市・地域づくり

環境・福祉・経済の相乗効果

Walkable City as Community Space leading to Well-being.
Mutually-reinforcing Effects of Environment, Welfare and
Economy.

“SHOTENGAI”

商店街

(Japanese shopping
streets)

の可能性

〔アーケード付きの歩行者専用空間〕



——本書は、こうした商店街あるいは中心市街地のもつ新たな意味や価値に注目し、具体的事例や国際比較、まちづくり・交通などの公共政策等々、幅広い角度から分析や考察を行うとともに、これからの時代における商店街ないし中心市街地のありよう、そして再生に向けたステップを提案するものである。——



ちくま新書

1775

“Revival of
Shotengai:
Walkable
Community
Space”

高松市(香川県): 丸亀町商店街

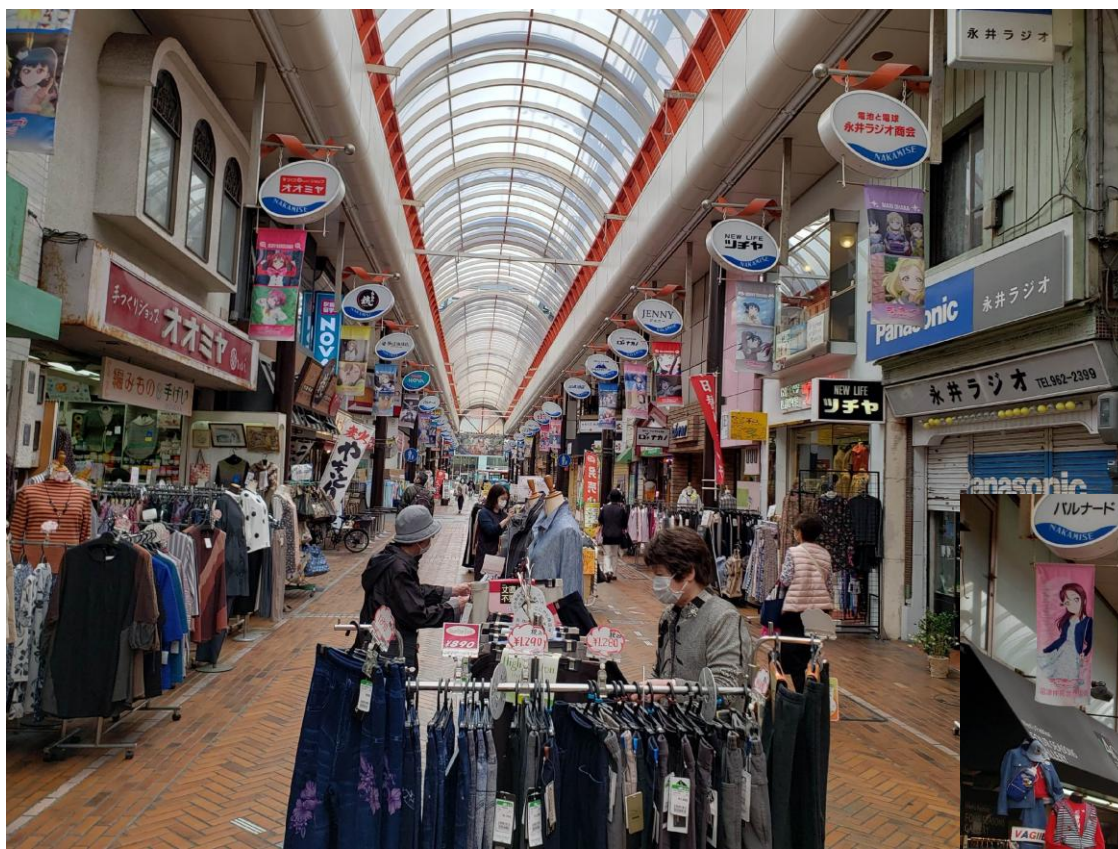
Takamatsu City, Kagawa Prefecture

・商店街と高齢者向け住宅等を一体的に整備し「福祉都市」的な性格をもつとともに、ヒト・モノ・カネが地域で循環する地域内経済循環を目指す。



沼津市（静岡県）： 沼津仲見世商店街 高齢者もゆっくり過ごせる歩行者空間

Numazu City,
Shizuoka Prefecture



佐世保市(長崎県): 佐世保三ヶ町商店街 様々な世代が自然に過ごせるコミュニティ空間

Sasebo City,
Nagasaki Prefecture



神戸市・三宮

歩行者空間と「座れる場所」の整備

Kobe City,
Hyogo Prefecture



居場所 (Ibasho)
たまり場
サードプレイス Third Place
コミュニティの拠点

商業機能のみにとどまらない

商店街の新たな価値

→ コモンズとしての商店街

Shotengai as “Commons”

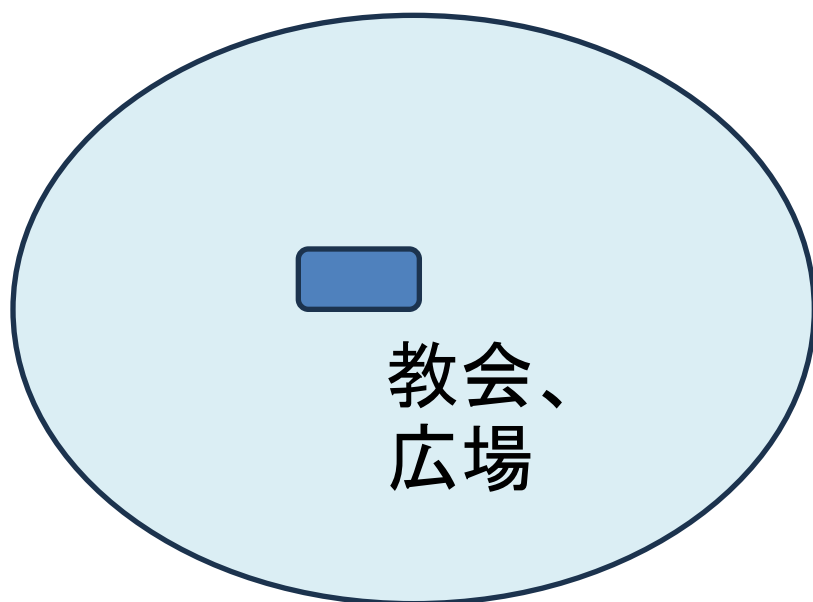
都市・村落の空間構造

ヨーロッパと日本の比較

Comparison of Spatial
Structure of Cities in
Europe and Japan

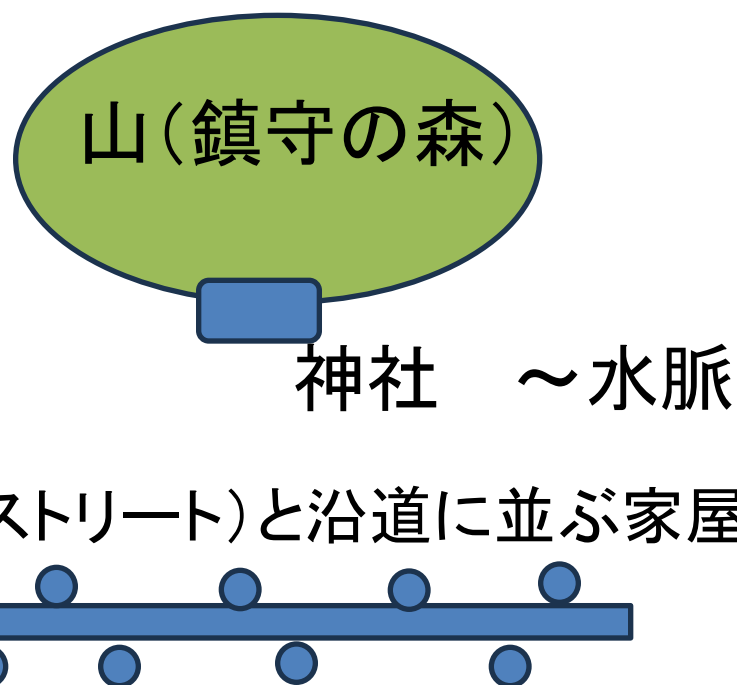
“広場村”〔ヨーロッパ〕

Europe:
Church and Square



中心に位置する教会が
コミュニティを支える。

“街村”〔日本〕



Japan: Streets and Chinju-no-mori (shrines)

背後に位置する鎮守の森～
神社がコミュニティを支える。

商店街と「鎮守の森」

商店街は日本古来の「ストリート文化」だ

Shotengai and Chinju-no-Mori:

Shotengai as Japanese “Street Culture” from the Ancient Times

「居場所」と「出番」としての「祭り」

石岡のお祭り(茨城県石岡市)

“Matsuri” Festival as Ibasho and Social Participations



“Ishioka-no-Omatsuri” (Matsuri
Festival of Ishioka)
Ishioka City, Ibaraki Prefecture



「鎮守の森」

Chinju-no-mori

(Groves of the Village Shrines)

日本には神社・お寺が
それぞれ約8万
(コンビニの数[約6万]より多い)。



「八百万の神様」

(Eight Million Spirits in Nature)

→山、木、岩など自然そのものが“神様”

武甲山(秩父神社の御神体)、埼玉県



Mt. Buko as the Sacred Mountain
of Chichibu Shrine (Chichibu City,
Saitama Prefecture)

Animistic View of Nature
and Ecology



Sacred Tree in Kumano-nachi Shrine
(Wakayama Prefecture)

熊野那智大社、和歌山県

鎮守の森コミュニティ・プロジェクト

- 「鎮守の森」は、自然信仰と一体となったローカルなコミュニティの拠点としての貴重な性格をもってきました。
- こうした「鎮守の森」を、自然エネルギーの分散的整備や心身の癒し、地域再生などの現代的な課題と結びつけ、その新たな意義を再発見していくのが「鎮守の森コミュニティ・プロジェクト」です。



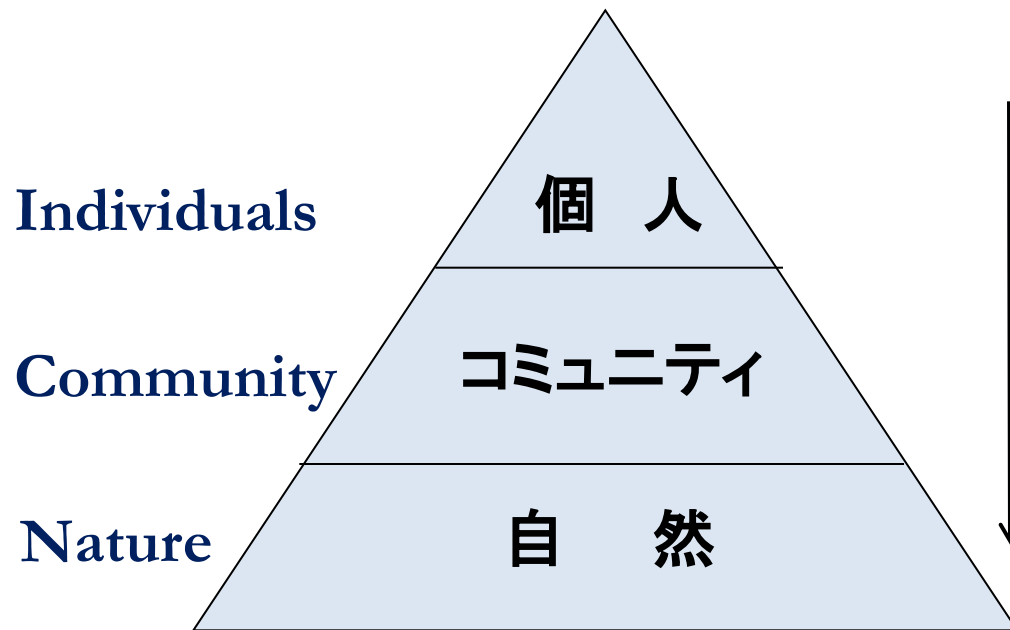
Chinju-no-mori Community Project:
Connecting Chinju-no-mori to Modern Social Agenda such as Renewable Energy, Mind and Body Healing, etc.



鎮守の森コミュニティ研究所

Chinju-no-Mori (Grove of the Village Shrine) Community Research Institute

居場所： 個人・コミュニティ・自然をつなぐ



Ibashi:
**Connecting Individuals to
Community and Nature**

(有と無の根源)

現代社会では、個人はその土台にある「コミュニティ」や「自然」、その根源にあるものとのつながりを失いがち。

御清聴ありがとうございました

コメント、質問等歓迎します。

hiroi.yoshinori.5u@kyoto-u.ac.jp

＊ 関連組織

・ 鎮守の森コミュニティ研究所

<http://c-chinju.org/>